

## 006 うさお

いつも行く横浜市の図書館のサイトが有料のバーナーを載せることとなった。1ヶ月3万円で、合計18箇所ある。月に54万の収入だ。年間648万で確かに若手2人位の給与は賄えるが、税金を払う側とすればもう少し掲載料の料金を上げてもいいじゃないかと思う。お上的には公共事業だからということで高い額を提示できないのだろうが、稼げるところはアイデアで稼いでもらい、その分を税金に反映してもらいたいな。

また、使うべきところの予算をこういう措置で少しでも潤沢にし、予算の切りっ放し行政は御免蒙りたい。うさおはポリティカルな話は得意としない。理解できないからだが、経済もダメだ。毎年確定申告に苦慮しており、(記載内容が理解できないのだ!)数年前 excel で入力フォーマットを作った。何を入力するのかを忘れないためだ。Cacco に確定申告用紙を見せたら「何だ、こんなの簡単じゃない」と、さっさと記入し郵送していた。土地の処置も医療費控除も「簡単よ!」って、さっさだった。(最近 internet で出来るようです)わかんねえよ!もしや、右脳が、左脳がと考えたがよく判らなかった。



品名	作家名	あらすじ	感想・評価
汚辱のゲーム	ディーン・クーンツ	フォークや栓抜きが凶器に見える。美貌の女性ゲーム作家、マーティの心に突如兆した残虐な殺人衝動。夫のダスティは精神の均衡を失い消耗していく妻の姿に驚き、原因を探ろうとするが・・・。	☆☆ 心理ものと銘打っているが、精神病院に通って幻想を見ているだけ。嫌いな。
御三家の反逆	南原幹雄	秀忠から家光に将軍位が移り、徳川家による幕藩体制は確立された。だが駿河大納言忠長の幽閉の後、新将軍家光は御三家を最大の脅威受け取り、幕政から排除しようとする。御三家廃絶を企む将軍家光に対して、尾張義直、紀伊、水戸も呼応し反逆が始まる架空の騒動だ。	☆☆☆☆ 史実に基づいたものと思っていれば、こうなったかもしれないと言うシミュレーションものだった。柳生十兵衛も出てきて結構面白かった。
心はいつも荒野	司城志朗	階段から落ちて頭を打ち記憶を喪った、気がついたら重しをつけて海に沈められそうになっていた。いったい私が何をしたというのか。そして私は何者なのか。	☆☆☆ タイトルが志水辰夫のようで借りてみたが、まあまあか。
笑う肉仮面	山田風太郎	水葬館の魔術、姿なき蠟人、秘宝の墓場、魔船の冒険、なぞの占い師、摩天楼の少年探偵、冬眠人間(中学時代二年生版)、暗黒迷宮党、なぞの黒かげ、笑う肉仮面など。	☆ 江戸川乱歩のようなタイトルだったので期待していたのに、これは全て少年もの。つまんねえ。
孤独	吉村達也	床には夫の生首が転がり、その胴体にかぶさるようにして妻が息絶えていた。晩秋の戸隠高原、奇妙な形の別荘で、若手人気女優夫妻が怪死。県警捜査陣は、死んだ夫婦の過去を追ううちに、夫がわずか三歳のときに父を刺殺していた可能性に行き着く。	☆☆ はて? 吉村は本格派だったのでは? あまり本格ではないような。面白さも半減だね。もう少し普通の事件から入れないのかなあ。
殴られた石松	長谷川伸	駿州清水港の清水の次郎長を親とたのむ石松は、久しぶりに生国の三河の森へ墓参りに帰った。そこで石松は幼馴染みの百姓惣吉が乱暴浪人の鬼藤桂之進に無礼討ちされた場面に出くわす。怒り心頭の石松は惣吉の弟常吉の肩入れをし敵討に乗り出す。	☆☆ 浪曲廣澤虎造で有名な森の石松のエピソード1。くすぐりもなくヒステリックな石松は興ざめ。
媚薬	図子慧	フリーライター磯良のまわりでは、次々と人が死んでいく。美青年茅島に恋する啓子は、インターネットで手に入れた媚薬を彼に密かに飲ませるが…。一方、街中でも眠るように死んでいく若者が急増していた。	☆☆ これもね、ホラーって銘打っているから期待しちゃった。残念。映画にはなりませんねえ、こりゃあ。

孤独なる追跡	笹沢佐保	エリート中央官僚だった利根川四郎は、その職も妻も捨てた。部下の水原姫子が丸三興易常務を殺したことを信じなかったからだ。個人的な感情を彼女に持っていたわけではない。彼女を首にしようという処理に反発しただけだ。失踪した彼女を探す彼につきまとう男、別居中の妻の不倫の行状が謎をはらんで迫る。	☆☆ 個人的感情はなかったって言うけど、それで離婚までするう？しないでしょ。変ですよ。変な話。共感持てない。
クラッシュ・ゲーム	北上秋彦	女性損害調査官・片倉美津子は親友、星野由樹の死に不審をいだいた。ある自動車保険金詐欺事件を調べるうちに由樹が何らかの事件に巻き込まれたと確信する。いかなる妨害にも負けず、真相を探り出そうとする美津子に迫る凶悪な魔の手。	☆☆☆ ようやく読める本にぶつかりました。って言っても平均点くらい。でも時間つぶしだからいいか。
亜細亜の曙	山中峯太郎	日本の軍事探偵本郷義昭が、某国の世界征服の野望を砕く空想科学冒険小説、当時の最先端科学を結集して建設した岩窟城を舞台に本郷義昭が繰り広げる活躍は。	☆ 小学生の時に詠んだ時はワクワクした。今読んだら迷惑した。読めない。何故？
殺す警官	サイモン・カーニック	副業で殺しを請け負う刑事デニス。標的は悪人だけ。依頼では3人の麻薬ディーラーを射殺した。ところが、翌朝の報道で被害者が罪もない一般人だったと知る。やがて自分に酷似した犯人のモニター写真が新聞に載り、そもそも依頼が罠だったのではと疑うが…。	☆☆☆☆ これは結構面白かった。逢坂剛の禿鷲の夜を彷彿とさせます。悪いやつを応援しちゃいますね。
吹雪の虹	光瀬竜	柏木秀人はバイトをしながら流浪の旅を続けていた。新宮寺笙子の行方を探しているのだ。天涯の孤児だった秀人は笙子の両親に引き取られ、笙子とは兄妹のように育てられた。アメリカにいた秀人は、笙子が交通事故で両親を失い、そのショックで一切の記憶をなくした事実を知って帰国した。	☆☆ 冒険譚である。SFじゃあない。青春物語で格闘もので無国籍の日活映画ですが、古いですね。
ひまわりの祝祭	藤原伊織	自殺した妻は妊娠を隠していた。何年か経ち彼女にそっくりな女と出会った秋山だが、突然まわりが騒々しくなる。ヤクザ、闇の人物、昔の会社のスポンサー筋などの影がちらつく中、キーワードはゴッホの「ひまわり」だと気づく。	☆☆☆ 結構無理の目立つストーリー展開。わざわざ整形させたり、ちよいとあざといが、そこは藤原さん読ませますよ。
紅藍(くれない)の女(ひと)殺人事件	内田康夫	新進ピアニスト・三郷夕鶴の相談を受けた浅見光彦。夕鶴の父が「はないちもんめ」というメッセージを受け取って以来、様子がおかしいのだという。浅見は、夕鶴の話から深い秘密の存在を感じ取り、三郷家の古里、山形県河北町を訪ねる。	☆☆☆ 軽い、軽い、軽いのはいいね。
歌わない笛	内田康夫	倉敷市の山林で夏井康子が死体で発見された。フルートを手にしたまま…。五日後、婚約者・戸川健介の溺死体。偶然事件と関わったヴァイオリニストの本沢千恵子は康子のフルートの持ち方が左右逆なことに気付いた。他殺？浅見光彦に相談する。	☆☆☆ 時間つぶしは軽いのが一番。
魔	笠井潔	私立探偵・飛鳥井が、サイコセラピスト・鷲沼晶子の依頼でストーカーや拒食症、外国人労働者問題など、現代社会を揺るがす「魔」に挑む。	☆ 面白くないです。私には。
天国への階段	白川道	家業の牧場を騙し取られ非業の死を遂げた父。最愛の女性にも裏切られ、孤独と絶望だけを抱え19歳の夏上京した柏木圭一は、26年の歳月を経て、政財界注目の若き実業家となった。罪を犯して手に入れた金から財を成した柏木が描く復讐。	☆☆☆☆ 韓国ドラマだよって言ったから一字違いで別物。でも読まず、読まず。面白いよ。岩窟王じゃあなく純愛ものです。

